

通信員のコメント

杉本 佳子さん

改めてメディアに目を向けると、男女の固定的な表現がこんなに多いのに、意識していなかった自分に愕然としました。これだけ溢れているということは、意識している人が少ないということの裏返しではないでしょうか。

平川 和明さん

直接的な表現は減りつつも、アイキャッチのポスターなど根強いものもあります。各人の考えの多様化を忘れず、その情報、表現は正しいのか？誤解を招かないか？などを自分で考えた結論をもつことが重要だと思います。

真々田 崇さん

紙おむつのCMに男性タレントが自然体で登場するなど、最近性別にとらわれない表現が増えてきたように感じます。そのような表現をみつけながらメディアに接するのも楽しいのではないのでしょうか。

吉田 龍太郎さん

固定的な表現は、最近では家庭を描いたものに多く見られる印象ですが、つい影響を受けそうになります。メディアの表現をただ飲み込むだけでなく、一呼吸おいて判断・評価する習慣をつけることが必要だと感じます。

気づくことって大切！



たった1枚の絵なのに、男女の関係とか家族の仲が変わってしまうのはすごいと思う。

でも、1枚の絵だけで、いろいろな影響をうけてしまうので、少し怖いと思った。お父さんは会社、お母さんは家事、みたいなイメージが私の中ではあったと思う。私だったら、2のような家族がいいと思った。



1の絵を見て、最初は何も感じなかったけれど、2の絵を見たら、1に対し少し違和感が出てきた。

1の絵では、男子はこう、女子はこうという考えがあったことに気がついた。男女以外にも、大人はこう、子どもはこうとか、固定された考えがあって、あまりそういうことにとらわれない方が、2の絵のようにみんなイキイキできるのかなと思った。

最後に、この日の授業で気づいたことを自由に述べてもらいました。ほとんどの生徒が、「表現の仕方でもイメージが違うことがわかった」「人にはいろいろな好みがある」と述べています。「メディアで表現されているものにも固定的なイメージを強調しているものがある」ということに気づいて、生徒たちも情報を読み解く力を身につけることができました。うです。あなたは、どう感じましたか？



絵の風景は同じだけど、男女の組み合わせを変えるだけでこんなにイメージが変わるのに驚きました。人はそれぞれものごとの見方や意見が違うから、その人はどうしてこの意見なのかという理由を考えて、理解していきなきゃいけないんだと思いました。

2 前ページ1の絵と比べて、どう思う？



・人にはいろいろ好みがあるから、活発な子もいるし、静かに遊ぶ子もいる。

・性別に関係なく、やりたいことをしてすごく楽しそう。

・家事が平等。

・教育も家事も協力している。

・男性も家事をして女性も働いている。男女の差をあまり感じない。

・互いに思いやりの心を持っていて、1の絵よりも対等になっている。

・男女の区別がない。

・男女が関係なく、外や中で遊んでいる。

・1の絵は「男は外、女は内」として役割が決まっていたが、2の絵のように、女子と人形遊びをする男子は大人になると家事をいっしょにやり、外で遊んでいる女子は、大人になると男性といっしょに仕事に行くようになるのだと思う。

・現代の家庭。

・男女の仲は良いけれど、全体(4人)の仲はあまり良くないのかな...と思った。

・男女が同じ遊びをすることで、将来女性は外で働く人が増えるかもしれない。男性は料理や家事ができるようになるかもしれない。

・女の子の表情がイキイキしている。

・両親が共働きで疲れていそうだが、だからこそ協力して仲が良い。

・男女の気が合っていて、笑顔があふれている。

・性別に関係なく仲良くしている。

・お父さんとお母さんに愛されて、子どもが幸せそう。

・父親の子どもとの触れ合いが増えた。

人はさまざまな属性から成り立っています。性別を始めとして、職業は何か、家族関係は、年齢は、国籍は...？そして人は、その属性に付与された、他者や社会による役割期待に込められることで、人間関係を営み、社会システムを維持してきました。しかし、「そうあって欲しい」という役割期待が、「そうあらねばならない」という役割規範となり、人をがんじがらめにしたり、さらには偏見や差別にまでつながってしまうことがあります。また、元々多様な性質や能力、可能性を持っているにもかかわらず、それを奪ってしまうことにもなりかねません。

特に性別に関してはその規範が強く、女性だからということだけで仕事に就くことができず、お金を得られないばかりか社会貢献からも遠ざけられたり、男性であることを理由に希望する職をあきらめて自己実現できなかったりなどということがあります。これは、その人にとっても社会にとっても不幸かつもったいないことではないでしょうか。

メディアを正しく使いこなすことが自分らしくいられる多様な社会につながります



家族で触れ合う時間が多い。



男女が仲良く遊んでいて楽しそう。

2の方がより豊かな表現で、楽しそうなことに、みんなでいろいろな意見を出し合い話し合っているうちに自分たち自身で気づきました。子どもたちの能力ってすごい！



次に、性別にとらわれずさまざまな遊びをしている子どもや家族が家事や育児で協力している絵2を見て、1との違いやどのように感じるか、その理由などを話し合ってもらいました。すると36人中ほぼ全員が「男女関係なく、やりたいことをして楽しそう」「家族みんなが協力して仲が良い」と感じています。

共に遊び、協力する姿は楽しそう・仲が良いと感じています